

議会風景



▶ 令和6年9月 決算議会代表質疑 ▶ 令和6年9月 決算特別委員会

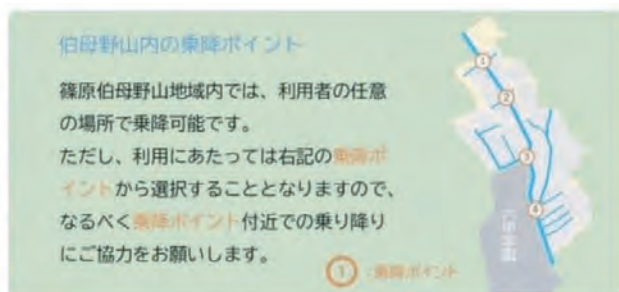
■ 令和5年度各会計決算について

令和5年度各会計決算及び関連議案合計24件を、要望18件を付して認定、承認しました。
(要望事項の一例)

- ・部活動の「KOBE◆KATSU」への移行については、魅力ある仕組みを目指すとともに、途中経過の情報を適宜発信し、市民の理解を得られるよう努められたい。
- ・地域福祉センター新方針導入に関しては、今までの取り組みを尊重しつつ、新しい制度や仕組みが取り入れられるように地域への丁寧な働きかけを継続されたい。

○地域コミュニティ交通「おばのやま号」10/1本格運行実施スタート！

- ・阪急六甲駅・篠原伯母野山3丁目間をデマンド運行（予約に応じて運行）しています。
- ・web予約サイトにて乗車60分前まで予約可能です。
- ・運行時間は平日のみの10時台～15時台です。



時刻	阪急六甲駅方面	時刻	伯母野山方面	乗合人数	正規運賃	敬老バス利用	福祉バス利用
9時		9時	00	1人	550円	280円	無賃
10時	20	11時	00	2人	300円	150円	
11時	20	12時	00	3人以上	200円	100円	
12時	20	13時	00				
13時	20	14時	00				
14時	20	15時	00				
15時	20	16時	00				
16時							

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通2-2-8 まどかビル2階東
TEL：070-1930-2368 FAX：078-271-3707 mail:info@isayama-daisuke.jp

神戸市会議員・灘区選出

いさやま大介

活動報告

プロフィール

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。（現在、神戸市水泳協会副会長）
灘区の松蔭中学と神戸海星中等高等学校で18年間教員を勤める（理科と化学）。
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年、19年、23年神戸市会選挙連続当選、現在3期目。
教育こども委員会所属（2024年9月現在）
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

発行元

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館27階
TEL：078-322-5844 FAX：078-322-6161

Vol.36

南海トラフ地震への対策は大丈夫か？！

災害

決算議会
質疑のポイント

- ☑ 神戸市は能登半島地震の応援派遣を通して把握した様々な課題を踏まえ、特に初動・応急期に係る災害対策の総点検を実施している。
- ☑ 8月に開催された防災会議を踏まえ、今後の災害対策はどうしていくのか。
- ☑ 初の「南海トラフ地震臨時情報」を受けての対応をどう総括するのか。

久元市長：地震で顕在化した初動・応急期の課題に加え、阪神・淡路大震災後の経年的な社会情勢の変動やテクノロジーの進展も踏まえた本市災害対策のさらなる実効性の確保を図る。

防災会議では、避難所の開設・運営に係る課題や地域団体への支援の在り方、災害時における保健・医療・福祉の提供体制の確保などの意見があった。

市の初動応急体制の強化をはじめ、避難者が安心・健康に過ごせる避難所づくり、被災者や要援護者に対する効果的な支援方策の検討、備蓄物資の確保と適切な維持管理、新たなテクノロジーの活用などの対策を中心に、庁内検討チームで議論を進めている。

災害時簡易ベッド等の現物備蓄の追加配備、AI技術等を活用した災害時における情報共有システムの本格実装など、補正予算要求を行い議決された。
非常用電源の確保やトイレカーなど、新たなテクノロジーによる資機材の導入など、様々な方策の検討を進め、防災・減災対策の一層の強化に努めていく。



市政を身近に 令和6年度第2回定例市会、決算特別委員会にて質疑しました！

神戸の魅力を発信！！課題を提案！！

観光・経済・行政

○「日本一のロケの街」を目指します！！

- ☑ 映像コンテンツの誘致・撮影支援を実施してきた『神戸フィルムオフィス』は、昨年度は「シティ・ハンター」などの165作品をサポートし、その直接経済効果が4億円を超えた。
- ☑ NHK連続テレビ小説「おむすび」では、阪神・淡路の震災から復興していく神戸が舞台の1つとなり、灘区の商店街がロケ地となっている。
- ☑ 神戸が「日本一のロケの街」になるためには、予算の増額や運営体制の強化が必要であると考えがどうか。

決算議会
質疑のポイント

平成12年設立の『神戸フィルムオフィス』は、幅広いネットワークを活用した誘致活動と、きめ細かな支援サービスが高く評価され、令和5年度末までに3,763件の映画、ドラマ、CMなどの撮影が実現をした。映画のまち神戸としてのPRが図られ、神戸の観光誘客や神戸経済の活性化に寄与してきたと評価をしている。

また、神戸でのロケ撮影を支援するロケーションハンティング助成や、神戸が舞台の作品を台本制作段階から支援するシナリオハンティング助成などを活用している。
神戸市としても、このような活動が継続できるように引き続き支援していく。



▷ロケ地になった商店街

○神戸市における公益通報制度は機能しているのか？！

「公益通報」とは、事業者内部の法令違反行為について、処分等を行う権限がある行政機関や報道機関等の事業者外部のいずれかに、所定の要件を満たして通報するものである。

兵庫県では、この「公益通報」の対応をきっかけに大きな混乱が生じている。

（神戸市の近年の運用状況および過去の制度改革について質疑）

受付件数や是正に関する状況を市のホームページで公表し、例年、約10件から20件の通報を受理し調査を行っており、一部、是正につながっているようである。

また、組織の自浄作用が正常に機能する制度となるよう、窓口を外部の弁護士に一元化し、通報者の情報が外部窓口限りとなり通報者が特定できない仕組みである。

調査では、新たに採用した庁内弁護士を中心に、その指揮の下で行財政局が独立的に実施する。内部通報制度が職員にとって利用しやすく、適正に機能するよう取り組んでいく、とのこと。

教育・子育ての充実を！！

教育・子育て

○教員の人材確保を目指します！！

教員の人材確保やメンタルヘルスクアについては、非常に重要な課題であります。新規採用を含む若手教員は当然のこと、現場の中心となるべき、中堅どころの教員が辞めないような対策をきっちり講じるべきです。

脆弱な「産業保健体制」の強化をすべきと質疑しました。



また、令和4年度からペーパーティーチャー等を対象とした研修である「KOBE教員スタートプログラム」を行っていますが取組状況と成果についても、質疑しました。

○部活動の「KOBE◆KATSU」への移行はどうなる？

部活動の「KOBE◆KATSU」への移行については、制度設計がしっかりとされ、生徒・教員・保護者が納得できる形になれば、私は教員経験者として賛成の立場です。

2026年9月の移行時に 中学1年生や2年生の生徒たち、現在の小学5年生、6年生の子たちへフォーカスを当てて質疑しました。学校の部活動から地域クラブへと、チームや体制が大きく変わることを経験する移行期の生徒たちが、意欲を低下させることがないように、細心の注意を払って、フォローしていく必要があります。

現行の中学校部活動についても充実させるとともに、指導する教員の自己負担軽減をすべきであると、質疑しました。 ▷神戸市総体での審判のお手伝い



○すべての子どもたちの未来を応援！！

新設されてから4年目を迎えた「こども未来課」の課題点および実績と、経済的な事情により学習機会を十分に得られない中学生を対象に、無償の学習支援を行う「学びへつなぐ地域型学習支援」について、質疑しました。



○産後ケア事業の充実を！！

令和5年度の産後ケア事業利用者数は、宿泊型、通所型、訪問型のいずれも前年度実績から増加しています。産後ケア事業に関する成果と施設への財政的な支援等について、質疑しました。

神戸市会議員
(垂水区)

市会報告
川内きよなお

ご相談はお気軽に

川内きよなお事務所
神戸市垂水区大町1-2-10
TEL : 080-6175-4877
E-mail : bucq906@hi-net.zaq.ne.jp

編集・発行 こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844 FAX : 078-322-6161

令和6年 第2回定例会市会【9月議会】日程（9月13日～10月24日）報告

この度の定例会市会は、令和5年度の神戸市各会計決算や議案について審議しました。

1. 一般会計決算収支の状況
実質収支 15億1,400万円（黒字）（令和4年度 11億2,700万円）

これに基づき私たち議員団では、本会議や決算特別委員会において、市長・副市長・当局に対して質疑を行った結果、令和5年度の一般会計決算は、個人・法人市民税の社会保障関係経費が増加した一方で、景気回復による個人・法人市民税の増や「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを着実に進めたことなどから、財源対策によることなく、実質収支の黒字を確保したことを評価すると同時に、今後人口減少時代にふさわしいまちづくりを進めていくことを要望し、令和5年度神戸市各会計決算並びに関連議案合計24議案について、原案のとおり認定・承認いたしました。

決算特別委員会（第1分科会・地域協働局）に質問



Q 川内議員 地域福祉センターの基本方針（令和8年度から運用開始）の議論がなされ、この9月に策定されたわけだが、指定管理者の負担軽減や、幅広い世代に使われることは良いことであると考えます。一方で、ふれあいのまちづくり協議会が、これまで地域が活性化するように努力してきた工夫等が引き継がれず、単なる貸館運営のような形になってしまっている。この事に対して当局の考え方を伺いたい。

A 当局 そのようなことがないように、今までの取り組みを尊重しつつ、新しい制度や仕組みを取り入れられるよう、地域への丁寧な働きかけをしていきたい。

神戸徳洲会病院医療安全管理体制の改善に関する改善措置完了について

1. 経緯
 神戸徳洲会病院については、繰り返し医療法に違反し、医療安全管理体制に重大な不備をさせたことから、医療法人徳洲会に対して改善措置命令（2024年2月20日付）を行った。

2. 徳洲会では、今回の事態を招いた各項目における再発防止策を含めて報告書にまとめた。2024年8月23日に立

入検査を行った結果、すべて措置が完了していることを確認した。引き続き、2025年8月末までの1年間について、病床機能検討部会の意見も踏まえながら、定期的に保健所が立入検査を行い、改善措置が適正に運用され、医療安全管理体制が確保されるよう指導していく。その上で、2025年8月末に「医療安全管理体制の改善完了」の可否を神戸市として判断する予定である。

医療体制の今後の方針について

許可病床数309床について、神戸市西部地区の医療機関として、小児科・産婦人科（周産期）救急を中心とした地域密着の総合病院として地域の皆様から信頼される病院を目指していく。

2024年8月（現状）許可病床数：309床に対して稼働224床（85床休床）常勤医数19名→段階を踏みながら→**2028年8月（4年後）許可病床数：309床に対して稼働309床、常勤医数59名、小児科・産婦人科・救急の医師の充足を図る。**

本来は、2025年2月に完成予定だった病院開設がかなり延びてしまった。小児科・産婦人科（周産期）救急を中心とした地域密着の総合病院は、垂水区民が待ち望んでいる。神戸徳洲会病院においては、「**医療安全管理体制の改善完了**」に向けて引き続きしっかり取り組んでいただきたいことを要望しました。



部活地域移行「KOBE◆KATSU」2026年9月開始予定

中学校の部活動について、神戸市教育委員会は2026年9月から、運営主体を学校から外部の地域団体に完全移行する方針を固めました。部活動の地域移行の背景には、少子化と教諭の業務負担があるといわれています。運営団体は市教委が募集し、審査を経て登録します。生徒は学校の枠を超えて参加可能とし、クラブチームとして活動します。地域の指導者や希望する教員が指導に当たり、運営に必要な最低限の費用は各家庭の負担になります。活動場所は学校や地域の施設とします。「KOBE◆KATSU」については、混乱なく運用していかなければなりませんが、様々な問題課題も考えられます。運営団体の少ない地域が出たり、種目の偏り、指導者の報酬の在り方の調整、ハラスメントやケガへの対応等、保護者の方々の心配も予想されます。☆皆様のご意見を聞かせていただきながら、議会場で意見反映していきたいと思ひます。

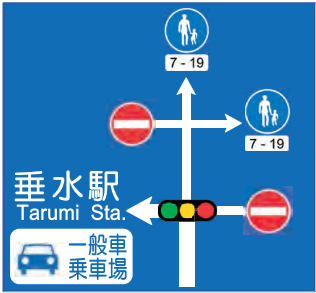


	中学校部活動	「KOBE◆KATSU」
運営主体	学校	地域の様々な団体（登録制）
指導者	教員、部活動指導員	地域の指導者、教員（兼職兼業）
参加者	当該校の生徒	生徒等（参加範囲を柔軟に設定）
活動場所	学校施設	学校施設、地域の諸施設
費用負担	部費（実費相当）	月会費等
保険	日本スポーツ振興センター 災害共済	スポーツ安全保険等

垂水小学校南西交差点への車両誤侵入注意看板を設置



昨年の決算特別委員会で、都市局に対して「垂水小学校南東交差点を誤って西進してしまい、小学校南西交差点で時間規制の通行止めのため、Uターンしている車をよく見かける。小学校が近くにあることから、児童に危険が及ぶことのないよう早急な対策を講じられたい」旨を要望しました。当局からは早急に対策したいとの答弁があり、垂水区役所北側道路（垂水小学校南東交差点に入る手前）に看板が設置されました。これによって誤って西進する車両がほとんどなくなりました。

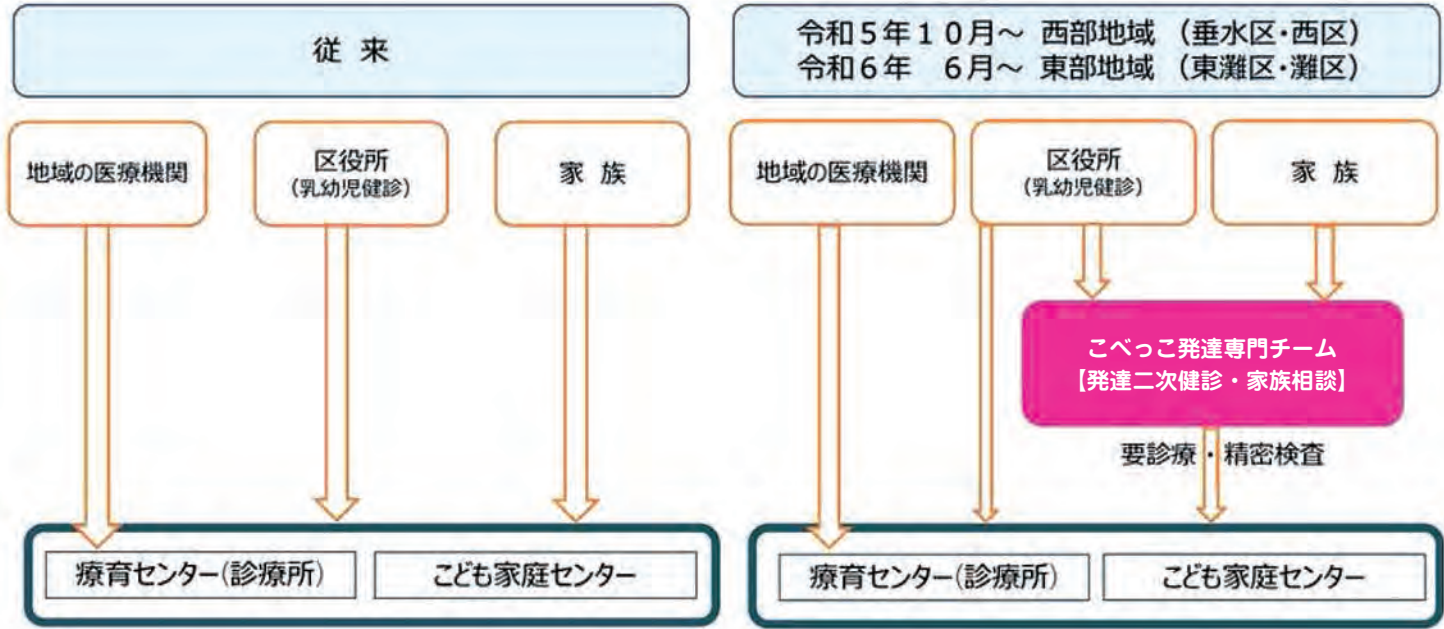


こべっこ発達専門チームのモデル事業を開始

令和4年11月議会において、こどもの発達に関する発達窓口の待機期間が長すぎることにについて質問し、令和5年度の予算に反映することができました。待機期間が特に長期化していた西部療育センター診療所の担当区域である垂水区・西区で、令和5年10月から発達二次検診や家族相談を開始しています。

モデル事業の概要

（事業イメージ）



こどもの発達が気になる家族からの相談に対し、専門チームが早期に対応することで保護者の不安や悩みを軽減し、こどもの発達特性やニーズに沿った適切な支援先につなぐことで、市の専門機関を利用するまでの待機期間を短縮することができるなど一定の効果が出ています。西部療育センター診療所では、**令和4年10月時点で待機期間が約6カ月かかっていましたが、令和6年10月時点で待機期間が約2か月に短縮されました。**

いとう 神戸市会議員 伊藤めぐみ

編集
発行

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161



こうべ未来市会議員団ニュース 2024年 秋 38号

プロフィール

- 谷上幼稚園、谷上小学校、山田中学校
夢野台高校40回生、
ノートルダム清心女子大学
- 神戸市立中学校教諭
大手前大学職員 等
- 神戸みなとライオンズクラブ
- 北神戸軟式少年野球連盟顧問
- 菊水山登山会 ● 親鳥会



こどもがまんなかの神戸へ!! そして、めぐみ豊かな北区!!

市会議員として3期目の今年は、議会活動10年目の節目となります。日々、市民のみなさまの声を聴かせていただきながら、議会で政策提案をしています。神戸市議会では、『こうべ未来市会議員団』の幹事長として、議員団7名のメンバーが“人への投資”を充分できる予算となるよう、神戸市へ要望しています。子どもから高齢の方まで、神戸で幸せに暮らし、神戸のまちを誇りに思えるよう、人づくりとまちづくりへ、行動していきます！

建設防災委員会 委員長として、神戸の課題に取り組んでいます！



建設防災委員会の議事進行をしています！

おいしく安全な水道水の提供、公園や道路・下水道の整備、街灯や防犯カメラで地域の安全を守り、市民のみなさまの命を守る分野の常任委員会です。来年2025年には阪神淡路大震災から30年を迎えます。南海トラフ地震や様々な災害に備える力強いまちづくりを推進します！



多様性を認めるまち神戸へ ライフパートナー制度が出来ました！

伊藤の質疑 私が長年取り組んできたLGBTQカップルが社会的に認められる、いわゆる“パートナーシップ宣誓制度”の神戸市版が昨年12月から施行されています。同性カップルが市役所で宣誓することにより、市の各種制度を受けたり、民間サービスを受けることができます。また事実婚の方もパートナーとして公に認められる制度となっています。区役所などでさらに制度の周知に取り組むべきでは？

小原副市長の答弁 制度開始から34組の宣誓があった。神戸市から医療・不動産・金融・保険など、サービス提供が想定される民間団体にも制度の周知・説明を行ってきた。引き続き制度への市民理解が広がるように様々な機会を捉えて働きかけを続けたい。

伊藤の要望

- 児童・生徒には、保護者の理解と協力も得ながら、多様な性について正しく理解し、自分も他人も大切に作る気持ちを育んでほしい。
- 教職員にはLGBTQ理解等の校内研修や、ライフパートナー制度など新たなトピックスも積極的に学び子どもたちを指導してほしい。



R6.5.29 市長に質問しました！

北区トピックス *Autumn*

Kita Ward Topics

鈴蘭台
エリア

『新北区文化センター・新北図書館等の整備』がすすめられています！

R6年～9年度工事、R9年度供用開始予定



伊藤の要望

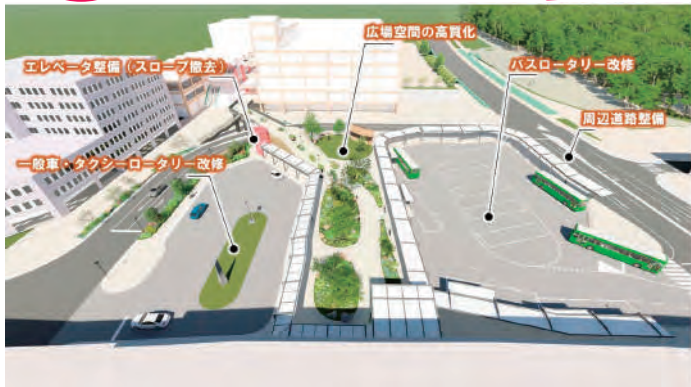
体育館、児童館、ユースステーションなども配置されることから、
駐車場の台数確保と、中学生、高校生など学生の学ぶスペースの確保を！



岡場
エリア

『岡場駅前広場の再整備』
がすすめられています！

R4～8年度工事、
R8年度完了予定



伊藤の要望

- 有馬警察署有野交番を駅前に移設し安全対策を！
- バリアフリーの動線と、送迎車のスムーズな転回を！



箕谷
エリア

国道428号(箕谷北工区)整備事業
がすすめられています！



伊藤の要望

- トンネル掘削工事など騒音対策を講じること
- 青葉台から箕谷小学校へ通う児童の通学路の安全対策を！
- 東側にある『小橋交差点』の拡幅工事も併せて実施すること！



道路や公園の不具合を発見したら
神戸市LINE公式アカウントから
LINEで教えてください！

日々の役立つ情報も配信中です！

公園のブランコの
鎖が外れている



道路が陥没していて、
こけそうになった

QRコードをスキャンすると
LINEの友だちに追加されます



きど 神戸市議員 木戸 さだかず 活動報告 2025.1

1974年生まれ

- 神戸大学卒業、京都工芸繊維大学大学院修了、淡路景観園芸学校修了
- 京都で植木職人として修行後、設計コンサル勤務。
国営明石海峡公園の基本設計や自治体の景観形成条例策定等に携わる。
- 兵庫県議会議員1期（2019～2023）
- 2023年4月より神戸市議員（神戸市須磨区）



阪神淡路大震災から30年

南海トラフ地震が起こった時、DMAT(災害派遣医療チーム)は神戸に来ない？

どうする!?!災害時の医療体制

今年は震災30年

今年は、神戸を襲った未曾有の阪神淡路大震災から30年という節目となりました。

当時大学生で土木工学を学んでいた私は、倒れないと言われていた阪神高速道路が倒れたことに大きな衝撃を受けました。

結果、この大震災を契機に土木構造物の耐震基準は見直されることになり、その他にも様々な分野で災害対策のあり方が見直されることになりました。



写真提供: 神戸市

自治体では、一刻も早い復興に向けて自治体同士で連携をとって動くという流れも出来ました。

南海トラフ地震では 外からの支援が期待できない!?

しかしながら、近い未来に起こるといわれている南海トラフ地震のような大災害では、あまりに被害を受ける圏域が大きく、自治体への支援は特に甚大な被害を受けるとされて

いる和歌山をはじめとする東南海地域や四国南部などで手いっぱいになり、神戸はすぐには外部からの支援が来ないことが想定されています。



南海トラフ地震が発生した場合の応援出動イメージ(消防庁)

生命を守る！ 神戸版DMATの実現を！

※DMAT:災害時に被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム

大災害の際、最も急がれるのは命を救うことです。「72時間の壁」という言葉があるように、これは人が生命を維持できる限界の時間であり、人命救助のタイムリミットと言われています。この命を救う活動の中心とな

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！ 神戸市議員 木戸さだかず tel. 070-7645-4168

るのがDMATです。

実は、このDMATも阪神淡路大震災を機に発足しました。発災後すぐの災害現場での医療の必要性が認識されたのです。

DMATは発災後の急性期（おおむね48時間以内）を担う医療チームですが、南海トラフ地震では神戸にDMATもすぐにやってくれないことから、発災後の急性期医療の確保は神戸の大きな課題となっています。

市会本会議で質問しました！

今、神戸市医師会が先頭に立ち、自分たちの命は自分たちで守るべく、神戸の医師らだけで構成する「災害時神戸メディカルチーム構想（神戸版DMAT）」をつくろうという動きが始まっています。

これができれば市民にとって大変心強い取り組みとなります。そこで、取り組みの現状と神戸市の関わり方について本会議（2024年10月24日）で市に質問しました。

神戸市の回答要約（小原副市長）

神戸市としまして、この構想が実現されることは災害急性期の医療体制を確保し、市民の命を守ることににつながるものと考えているところでございます。

現在、構想の実現に向け、**医師会とは災害の際の通信障害時における連絡環境の整備を含め、具体的な運用について協議を行っている**ところでございます。

そのため、今年度中に医師会等と関係機関と合同で救護所の設置や医療チームの要請といった南海トラフ地震を想定した**初動対応の実地訓練を中央区でモデル実施する予定**といたしているところでございます。

訓練により見えた課題の整理、また対応策の検討を医師会等関係機関と行うことで、南海トラフ地震などの災害時に当構想が実効性のある医療支援活動につながるよう努めていきたいと考えております。

”子育て世帯に選ばれるまち”を目指して議論しています

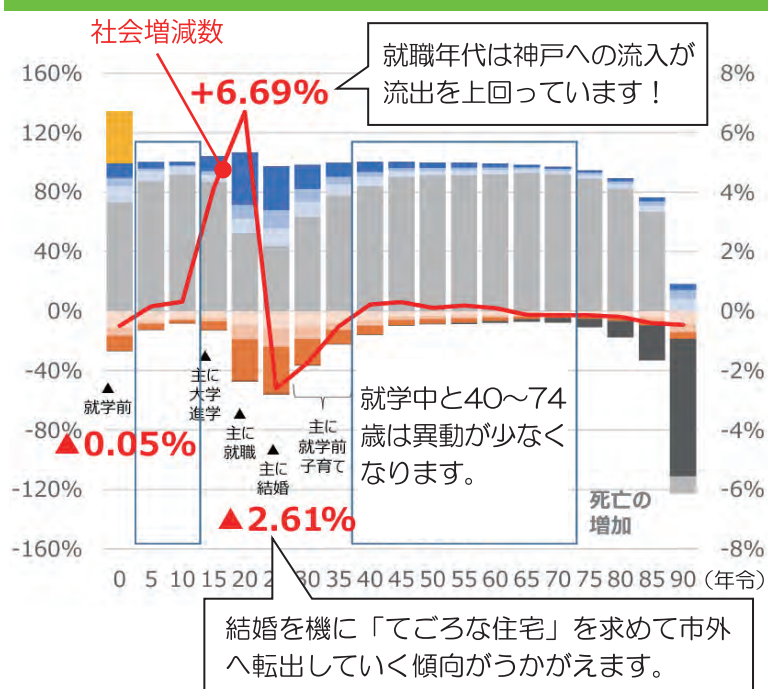
理事として議論しています

本格的な少子高齢化時代に突入する中、神戸市の推計人口も150万人を下回り人口減少が大きな問題としてクローズアップされています。

神戸の人口減の大きな要因は、なんといっても死亡による自然減少です。1960年代以降に山地を切り開いて開発したニュータウンを中心に高齢化が進み、死亡者数が増えている影響が大きく、これは致し方ないことですが、指をくわえて黙っていては流れは変わりません！

神戸市会では「未来都市創造に関する特別委員会」で、若い世代に選ばれるまちを目指して議論を進めており、私も理事として積極的に意見しています。

人口増減がおこるライフイベント（神戸市、2022）



ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！

神戸市会議員 木戸さだかず

お名前

お電話番号

〒654-0142

須磨区友が丘1丁目109

電話：070（7645）4168

メール：k.sadakazu@gmail.com

ご意見

編集・発行／こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：078-322-5844 FAX：078-322-6161

郵便はがき

料金別納郵便

ひとりひとりを
大切に！



ご相談はお気軽に

神戸市会議員 **川内 きよなお**

〒655-0014 神戸市垂水区大町1丁目2-10
携帯 **080-6175-4877**
E-mail: bucq906@hi-net.zaq.ne.jp

川内きよなお 市会報告 2025年 新年号 No.6

編集・発行：こうべ未来市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL(078)322-5884

1・17を忘れない

1月17日で阪神・淡路大震災から丸30年を迎えます。改めて震災で犠牲になられた皆様によりご冥福をお祈りいたします。あの辛い経験を風化させることなく、震災の経験と教訓を未来へ繋がないければなりません。また、今後の大規模自然災害に対する防災・減災に向けた備え、高齢者や障がい者の方々に対する要援護者支援対策の強化など、自助・共助・公助の精神で市民の皆様と一体となつて取り組んで参ります。

令和6年11月議会が閉会

自然災害による被害の防止やインフラの老朽化対策、防犯カメラの増設等による安心安全なまちづくりを進めるための補正予算案（34億300万円）を可決しました。

防犯カメラ 200 台増設

神戸市は20年度から26年度にかけて、直営カメラを通学路などに5千台設置する計画を立てていますが、闇バイトなど連続強盗事件を踏まえた対策を強化するため、県警と連携を取りながら、幹線道路などから離れた住宅街にも新たにカメラを設置します。



神戸市カメラ見る＆守る



また、兵庫県内にもクマの出没が確認されていますが、六甲山周辺でクマの侵入を監視するセンサーカメラ計100台を三田、三木市などの市境に増設します。

新垂水図書館 今年の9月末開館(予定)

4階	セミナー室・屋上広場
3階	児童書・スタディールーム等
2階	一般書・飲食可能エリア等
1階	交通ロータリー
地下	地下 自転車駐輪場 (59 台) 原付駐車場 (200 台・定期利用・既存移設)

蔵書数 約 12 万冊 (現約 8.8 万冊)
専有面積 約 2,200 m² (現 686 m²)
座席数 約 300 席 (現 68 席)
※うち自習席約 50 席
全体事業費 約 36 億円



新垂水図書館外観パース（西側から）

こうべ未来市会議員団ニュース 2025年 新春39号

いとう 神戸市会議員

伊藤めぐみ

編集・発行 こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161



建設防災常任委員会での取り組み

今年度は**建設防災委員長**を拝命し、所管の建設局・水道局・消防局・危機管理室の委員会運営をさせていただいています。地域の安全を守る“防犯カメラ”の増設など、神戸市が取り組んでいる暮らしに密着した課題について審議しています。



決算特別委員会

◀ 2024/9/30 桂木小学校内にある『ふっQ水栓』の活用を水道局へ質疑



2024/10/9
市長へ決算総まとめの質疑をしました

決算の総括質疑

提案したこと

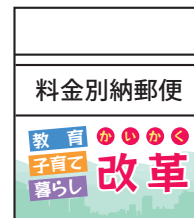
- 防災士資格の取得促進で地域防災力を高める！
- 若年世代・女性の貧困対策を！
- 教員のメンタルヘルス対策に、相談体制の充実を！

大都市行財政制度に関する特別委員会

神戸市の課題について立憲民主党へ要望に行きました。2024/11/25

要望事項

1. 神戸空港の国際化に向けた支援強化
2. 都心・三宮再整備への支援
3. 神戸市へ防災庁の誘致



郵便はがき



いとう 神戸市会議員 北区

伊藤めぐみ

神戸市政のこと、お困りのこと
いつでもどんなことでもご相談ください！

〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字かんじゃ11-3
Mobile／080-6111-9969 ✉happy@itomegu.com

こうべ未来
市会議員団
ホームページは
こちらから





OPEN神戸～市民に開かれた市政～

神戸市会議員 中央区

よこはた和幸 かずゆき

編集・発行 こうべ未来市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

こうべ未来市会議員団
NEWS No.21

よこはた和幸事務所：〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 4-1-12-8 階 TEL:078-335-0661 FAX:078-335-0662

令和7年新年度神戸市予算について

久元喜造市長へ次年度予算について直接要望書を提出し、意見交換をさせていただきました。

神戸空港の国際化や三宮再整備など神戸の未来の核が目に見えて進んできました。神戸の強みである海と山の立地を生かした産業の育成や民間誘致など建設的に提案しましたので、要望内容を抜粋してご報告します。



12月16日久元市長へ要望書を提出

不登校児童児の支援

増加する不登校生児童について、オンライン授業の積極活用やフリースクール支援を強化するよう要望しました。



神戸のランドマークの誘致

京都といえば神社仏閣、大阪といえばUSJなどランドマークがあります。神戸と言えばというような、学べて遊べてリピート率の高い(自然史科学博物館)など誘致を要望しました。

神戸空港の国際化

4月18日に国際化されます。毎日台湾便(台中)と韓国便、週3日で台湾便(桃園)、チャーター便としてベトナム便が運行されます。さらに便数増加、就航都市の追加など、エアラインなどに働きかけ、国際化に合わせた神戸空港のさらなる拡大・発展を強化して参ります。



神戸市会議員精神保健研究会の初代会長に就任

神戸市政を推進するにあたって超党派で取り組み達成すべき施策が多くあります。精神障がい施策について、研究会を立ち上げ、市会議員65名中58名と多くの議員の賛同を得ました。初代会長として責務の大きさを痛感しています。超党派で大きな視点で提言しやすくなりました。福祉のまち神戸といわれるようにして参ります。

家族会のご意見など拝聴しながら次期予算市会で反映をしたいと存じます。



結成総会にて初代会長に就任



郵便はがき



OPEN神戸～市民に開かれた市政～

神戸市会議員
中央区

よこはた和幸 かずゆき



事務所

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通4-1-12-8階

TEL: 078-335-0661 FAX: 078-335-0662

Mail: info@yokohata.net

こうべ未来市会議員団

〒650-8570

神戸市中央区加納町6-5-1

TEL: 078-322-5844

FAX: 078-322-6161

子育てと教育・福祉の充実をめざします

市会報告

神戸市会議員
(東灘区選出)

やの こうじ

編集・発行：こうべ未来 市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL：078-322-5844
FAX：078-322-6161



今春から待望の神戸空港国際チャーター便の就航により、韓国、ベトナム、台湾等への往来がより便利になります。阪神淡路大震災から30年を迎える神戸の街に、更なる賑わいが戻ることが大いに期待される1年となりそうです。

今後とも、引き続き神戸市政に対するご意見やご提言を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



全国初 市内ダイエー22店舗にてヘルプマークの配付が実現

「ヘルプマーク」とは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるよう、作成したマークです。



ヘルプマーク・ヘルプカード

定例市会11月議会で一般質問を務めました

1. こどもたちの市政への参画について
2. 教員の人材確保について
3. 期日前投票制度の充実について



一般質問の様子

市長への各種予算増額の要望

昨年12月16日に、久元市長に対し①敬老・福祉パスの民間（みなと観光）バスへの適用②高校生等通学定期券の補助制度対象の見直し③各種教育予算の拡充について強く要望をしました。



関連質疑の様子



市長要望の様子



郵便はがき

□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

料金別納郵便

教育
子育て
福祉改革

子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市会議員(東灘区選出)

やの こうじ

市政のご相談・問い合わせ先

〒658-0054 神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207

TEL 080-6111-9971

✉ yano.koji2018@gmail.com

木戸 きど 神戸市議員 さだかず

活動
報告
2025.3



1974年生まれ

- 神戸大学卒業、京都工芸繊維大学大学院修了、淡路景観園芸学校修了
- 京都で植木職人として修行後、設計コンサル勤務。
国営明石海峡公園の基本設計や自治体の景観形成条例策定等に携わる。
- 兵庫県議会議員1期（2019～2023）
- 2023年4月より神戸市議員（神戸市須磨区）

道路陥没事故 神戸は大丈夫？

1月28日、下水道管の破損が原因とみられる埼玉県八潮市の道路陥没事故では、トラックが転落するという大惨事になってしまいました。この事故をみて神戸は大丈夫かと気になっている人も多いのではないのでしょうか。2月市会で、下水道を含む社会インフラ（生活や産業の基盤となる設備）の維持管理・更新の現状と課題について確認しましたのでお知らせいたします。

神戸の下水道

異常なし！

神戸市は、陥没事故を受けて下水道の緊急点検を実施（1/30～2/14）し、陥没につながる異常はないことを確認しました。

点検では、レーダーで地中を解析できる空洞探査車も使用しました。

空洞探査車▶



道路陥没は年間16件

市内の下水道管が原因の道路陥没は、年間16件（2023年度）で、陥没は50cm未満の小規模なものでした。

一方で、全国では年間2,607件（2022年度）発生しており、100cmを超える規模の陥

没も2%ありました。神戸市は自治体規模で見ると比較的少ない数字となっています。

道路陥没事故は今後増える恐れ…耐用年数超え増加で

一般に下水管の耐用年数は50年とされています。

神戸市では現在、50年以上経過したものは全体の約30%あり、特に、高度経済成長期に多くを敷設していますのでこれから改築のピークがやってきます。これに対応するため、計画的に改築更新を進めています。

市内下水管は合計約**4,170**km

※腐食が生じやすいコンクリート製管は2,500km

改築（年間） 約**30**km

点検（年間） 約**210**km

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！ 神戸市議員 **木戸さだかず** tel. 070-7645-4168

神戸の上水道

道路陥没はなし

神戸市の水道管の総延長は約4,900kmあり、毎年1,000km以上の漏水調査を行っています。

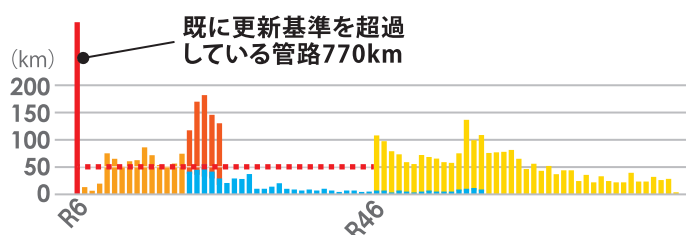
令和5年度は1,376km調査し、道路上の漏水が75箇所ありましたが、道路陥没はありませんでした。

耐用年数を超える水道管の更新が終わるのは40年後！

水道も高度経済成長期に敷設したものが多く、今は年間約40～50kmのペースで管の

更新・耐震化を実施しています。

毎年8億円程度のお金をかけていますが、耐用年数を超える管をすべて更新できるのは今から40年後の令和46年の見込みとなっています。



神戸の街路樹

三宮大丸前で街路樹倒れる 大倉山公園でも倒木

昨年12月7日、三宮大丸前の16メートルの街路樹が突如倒れ、駐車中の乗用車に接触する事故がありました。幸い運転席にいた男性にけがはありませんでした。

さらに同月23日には、中央区の大倉山公園でも木が倒れ、止まっていた車にぶつかりました。



街路樹11万本を緊急点検！

市内には11万本の街路樹があります。神戸市では倒木をうけ、街路樹の総点検を開始しています。

街路樹は私たちの生活をより良いものにするために植えられたものですので、これからしっかり安全管理していけるように私も注視していきます。



街路樹総点検 事業費約6.5億円
(期間：R7.3～R8.3)

倒木危険率※……………約2%

※2月14日現在で約1,300本点検し30本伐採

道路公園110番

道路や公園に不具合を発見したらお電話ください！2023年11月からLINEで簡単に通報できるようになりました！

TEL:078-771-7498



ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！

神戸市議員 **木戸さだかず**

〒654-0142
須磨区友が丘1丁目109番地
電話/070(7645)4168
メール/k.sadakazu@gmail.com

神戸市議員
(垂水区)

市会報告

川内きよなお

ご相談はお気軽に
川内きよなお事務所
神戸市垂水区大町1-2-10
TEL : 080-6175-4877
E-mail : bucq906@hi-net.zaq.ne.jp

編集・発行 こうべ未来市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL : 078-322-5844 FAX : 078-322-6161

神戸のまちを更に高みへ押し上げるために



神戸市は阪神淡路大震災から30年が経過しました。行政、市民が一体となって復興に取り組んだ結果、見事に復興を成し遂げ、これからは神戸のまちを更に高みへと押し上げていく大事な時期に入ってきました。

しかし一方では、生産年齢人口が減少し、社会情勢が大きく変化する中で財政の健全を保ちつつ、将来にわたってまちの魅力を高める投資も必要です。現在神戸市会では、令和7年度の神戸市各会計予算を審議する、第1回定例会（2月18日から3月28日）が開催されています。一人一人を大切にしながら、誰もが幸せを感じることができるよう、本会議や委員会の場で意見反映して参ります。

令和7年度予算の概要

●予算の規模

(単位：百万円、%)

会計別	令和7年度	令和6年度	増 △ 減	
				伸率
一般会計	1,005,913	905,694	100,219	11.1
特別会計	711,905	671,100	40,805	6.1
企業会計	315,247	350,195	△34,948	△10.0
合計	2,033,064	1,926,989	106,075	5.5

1 一般会計

○SDGsの視点に基づき「神戸2025ビジョン」に掲げる施策を積極的に展開することで、暮らしの質・都市の価値を高めるとともに、果敢な成長戦略による投資の好循環を創出し、将来世代が過度な負担を背負い込むことがない「持続可能な大都市経営」を実現するための予算を編成した。

2 特別会計

○神戸空港第2ターミナル等の整備完了に伴い空港整備事業費が減少した一方で、超高齢社会の進展に伴い介護保険事業費及び後期高齢者医療事業費が増加した。

3 企業会計

○土地処分や企業債償還の見通しが立ったことから新都市整備事業会計を廃止した一方で、西神戸ゴルフ場跡地に新たな産業団地を整備するため、産業団地整備事業会計を新設した。

安全・安心で過ごしやすい環境づくり（教育委員会）

1 学校給食における食材費高騰対策

食材価格の高騰が続く中で、給食提供に必要な食材費と保護者が負担する給食費との差額を引き続き公費により負担し、栄養バランスのとれた給食を維持する。

- ・保護者負担額 小学校 260円/食、
中学校 170円/食（令和6年度と同額）
- ・給食提供単価 小学校 324円/食、中学校 391円/食
- ・高騰対策額 小学校 64円/食、中学校 51円/食

2 中学校給食費の半額助成

保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図るため、全世帯の中学校給食費の負担を半額とする。（所得制限なし）

- ・中学校給食費：年額66,470円（高騰対策額を含む）
→28,900円

3 いぶき明生支援学校分校設置

特別支援学校における児童生徒の増加対策として、日本多聞小学校の跡地にいぶき明生支援学校の分校（小・中学部）を設置するため、校舎改修工事の設計等を行う。（令和10年度開校予定）

4 東舞子小学校学級増対策

児童数の増加に伴う教室不足等を解消し、教育環境の確保を図るため、暫定校舎を整備する。

- ・令和7年度：暫定校舎設計・建築工事、給食室改修設計 等



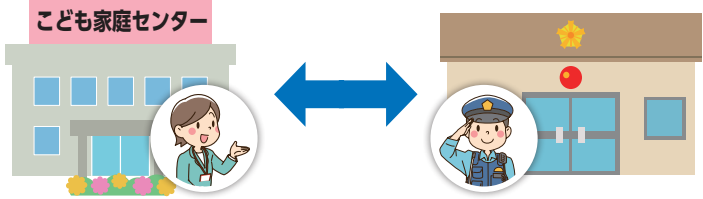
高校生等通学定期券補助の拡充(22億7,100万円)

市内在住の高校生等が市外高校に通う場合の補助を拡充する。
(現行、年額14万4千円を超える通学定期代の1/2 ➡通学定期代の半額を補助する)
また、市内高校等に通う場合の通学定期代は引き続き無料とし、
年齢要件は20歳までに緩和する。(補助期限の上限3年)



児童虐待防止体制の強化(1,996万円)

家庭支援課・こども家庭センター・区役所において、児童虐待対応等に係る職員を7名増員します。また、虐待事案に対して迅速かつ的確に対応するため、児童相談システムを再構築するとともに、児童虐待事案の情報を警察と共有するためのシステム機能を追加します。



五色塚古墳「ガイダンス施設」(2億6,560万円)

- 古墳北側の広場の部分に「ガイダンス施設」の建設を進めています。
- 「ガイダンス施設」には、①校外学習などの際に、大人数が集まって説明を聞けるようなスペース(レクチャールーム)、②パネルサイネージ等による五色塚古墳の歴史などの紹介展示スペース、③来場者の受付スペース、を設けます。



新垂水図書館 今年の9月開館予定(3億9千9百万円)

4階	セミナー室・屋上広場	蔵書数	約12万冊(現約8.8万冊)
3階	児童書・スタディールーム等	専有面積	約2,200㎡(現686㎡)
2階	一般書・飲食可能エリア等	座席数	約300席(現68席) ※うち自習席約50席
1階	交通ロータリー		
地下	地下 自転車駐輪場(59台) 原付駐車場(200台・定期利用・既存移設)	全体事業費	約36億円



新垂水図書館完成イメージ

垂水駅西ターミナル上屋リニューアル(4億9,900万円)

- 鳩対策：現状の屋根を撤去し、鳩が止まりづらい形状の屋根を新設。
- 機能向上：一部のバス上屋や歩廊の屋根面積を大きくすることで、歩行空間を広げる。
- 美装化・長寿命化：今後も快適にご利用いただけるよう柱の補修や塗替え。



現状



リニューアル後

議会風景



▶ 令和6年12月 一般質問

▶ 令和7年2月 予算特別委員会

■ 令和7年度各会計予算について

令和7年度各会計予算及び関連議案合計47件を、要望14件を付して認定、承認しました。

(要望事項の一例)・医療的ケア児を在宅で介護している家族の負担を和らげるため、

医療型短期入所の受け入れ体制の強化に努められたい。

- ・老朽化に伴う下水道管を含む道路付帯設備の調査を継続しながら、適切な維持管理に向けて取り組まれたい。

○『エコノバ（資源回収ステーション）』の取り組みが広がっています！

- ・『エコノバ』とはプラスチックの「まわり続けるリサイクル」を実践し、「世代を超えて新たな交流が生まれる拠点」を目指しています。
- ・灘区では、せいとく、つるかぶと、にしごう、ひえだ、なぎさ、にしなだ、たかは、おうじ、とが、の9か所の地域福祉（地域交流）センター等で開設されています。（2025年3月現在）
- ・使い捨てカイロのリサイクル実証実験も始まっています。ぜひご利用ください。



- ★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail : info@isayama-daisuke.jp

神戸市会議員・灘区選出

いさやま大介

活動報告

プロフィール

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。（現在、神戸市水泳協会副会長）
灘区の松蔭中学と神戸海星中等学校で18年間教員を勤める（理科と化学）。
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年、19年、23年神戸市会選挙連続当選、現在3期目。
教育こども委員会所属（2025年3月現在）
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。



発行元

こうべ未来市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館27階
TEL : 078-322-5844 FAX : 078-322-6161

Vol.38

ダブルケア（育児と介護の両立）への支援は？！

一般質問

一般質問

のポイント

- ☑ 2016年の内閣府の調査によると、育児と介護を同時に担うダブルケアを行っている人は全国で約25万人と推定される。
- ☑ 育児と介護のケアを同時に担う市民に対する支援についてどうなっているか。
- ☑ 他都市の例にならい、相談体制を含めた総合的な支援を進めるべきでは。

副市長：相談窓口として、介護は、「あんしんすこやかセンター」が中心となり、育児は、各区のこども家庭支援室、さらには地域の身近な相談場所としての児童館、おやこふらっとひろば、保育所などがある。

そちらで、介護者、保護者、家族の状況も把握するように努めてきている。

その家庭の福祉課題が複雑で困難な状況になっている場合は、

関係機関が情報共有し、チームとして家族全体の状況も踏まえた支援方針の検討・策定を行うなど、介護・育児の両面から、世帯全体にとって適切なサービスが提供されるように連携対応している。



いさやま：堺市では全区役所に育児と介護の両方を行う人へのダブルケア相談窓口を設置している。京都府では地域包括支援センターと子育て世代包括支援センターの連携により、育児と介護問題に関して適切なサービスを紹介できる体制を構築するとともに、子育てに配慮したケアプラン作成を行っている。神戸市でもより総合的な支援を進めるべきである。

🏠 市政を身近に 教育、子育て、文化・スポーツ ど真ん中の政策質疑をしました！ 🏠

神戸の課題にフォーカスを！！

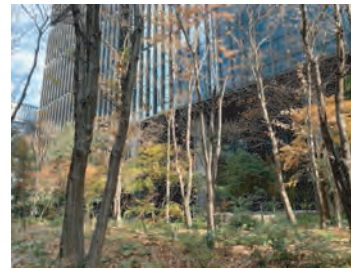
一般質問／予算特別委員会

○「神戸市独自のグリーンインフラ戦略」とは！！

一般質問
のポイント

- ☑ 「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用する考え方である。
- ☑ 都市部と郊外が近接し、六甲山系が近い地理的要件を有した本市において、グリーンインフラについての計画や戦略はどうか。
- ☑ 神戸の森林の再生を強力に進めるために、広葉樹林の整備・活用などについて、国や県に協力を得られるよう働きかけるべきではないか。

久元市長：国交省のグリーンインフラ戦略とは、気候変動や生物多様性などへの対策として、自然環境が持つ機能を社会の様々な課題解決に活用するという観点であり、この観点で神戸市の施策を進めていきたい。都心だけでなく、既成の市街地や郊外を含めた市街地における緑を増やし、長年放置されてきた民有林を含む神戸の森林の再生を図る。グリーンインフラという視点も十分に踏まえて政策の具体化を図っていく。



副市長：神戸市の森林の9割程度が広葉樹林であると推測されており、東京にある大手町の森かつてのような資源利用が停止し、荒廃しつつあることが大きな課題である。現在木材活用を含む広葉樹林の活用、管理再開に積極的に取り組んでいる。国や県に対して様々な形で協力を得られるように働きかけていく。

○震災 30 年関連事業（文化スポーツ局）を進めていきます！！

震災 30 年関連事業は、国内外からの多くの支援に対する感謝の気持ちをあらためて示し、また、経験や教訓などを後世やほかの被災地に伝えていくという使命を帯びています。文化スポーツ局の各事業が、5年後や 10 年後を見据えた未来へ継続していくものとなっているのか。また、「松蔭中学・高等学校美術部」が、40 周年イベントとしてワールド記念ホールを巨大なチョコレートとして演出するイベント（右上写真）が行われましたが、若者に事業に参加してもらう仕組みを採り入れていくべきだと、質疑しました。



教育・子育ての充実を！！

予算特別委員会

○部活動の「KOBE◆KATSU」への移行はどうか？！

現在教員が担っている部活動を、平日、休日とも全面的に地域へ移行する「コベカツ」は、2026 年9月より開始される予定です。担う団体が集まるのか、種目により地域偏在はないのか、指導員の資質はどうか、月謝など金銭面はどうかなど様々な課題があり、この議会でも多くの議論がありました。私いさやま大介は、主に教員が担ってきた中学校の大会の組織運営について取り上げました。今年度は、文化スポーツ局の方で大会運営組織のあり方を検討していくとあり、教育委員会と文化スポーツ局との連携の在り方等、質疑しました。



○民間プール活用の可能性を！！

令和7年度予算では、民間プールを活用した水泳授業を実施する学校を、自校にプールがない小学校 3 校（六甲山、美野丘など）から、原田中学校の 1 校増やし4校になります。民間プールの活用の考え方と今後活用を広げてはどうか、質疑しました。



○チーム担任制の効果は？！

学級担任を固定せず、複数の教員で分担する「チーム担任制」について、令和5年度に4校、令和6年度に9校でモデル実施を行ってきていますが、令和7年度は 50 校で実施する予定です。この制度の、メリット、デメリットと実際にモデル実施をした教員の意見はどうだったのか、また現場の教員としっかりとコミュニケーションをとれているのか、質疑しました。



○継続的な不登校支援を！！

教育委員会では、令和5年7月に策定した「不登校支援の充実に向けた基本方針」において、フリースクール等の民間施設との連携を推進していくとしていますが、具体的にどのような連携を行っているのか、また、兵庫県が令和7年度予算で、フリースクール等民間施設に通う児童生徒の家庭に対して、県・市協調で月 1 万円を補助する制度を設けようとしていますが、神戸市だけ対象外としていることについてどう対応するのか、質疑しました。



○まちなか自習室って何？！

カフェなど民間施設の空き時間を、中高生向けの無料の学習スペースとして活用していく「まちなか自習室」事業の狙いとスキームはどういうものか、質疑しました。

神戸市議員 木戸さだかず

活動
報告
2025.4



1974年生まれ

- 神戸大学卒業、京都工芸繊維大学大学院修了、淡路景観園芸学校修了
- 京都で植木職人として修行後、設計コンサル勤務。
国営明石海峡公園の基本設計や自治体の景観形成条例策定等に携わる。
- 兵庫県議会議員1期（2019～2023）、神戸市議員（2023～現在）

#2026年夏、はじまる。

コベカツ

保護者負担は？
グランド照明は？
安全管理は？
今の状況は？

全国が注目！

部活動は、今のままでは…限界です

- ✓少子化による廃部・休部が加速
- ✓トラブルの増加
教員不足が深刻化する中で教員が顧問となる仕組みは限界となっています。
- ✓完全17時下校により時間がとれない
準備と片づけを入れると1時間弱の活動しかとれない状況です。
- ✓こどもたちの意識の変化
ニーズは「楽しむこと」。ダンス・料理・eスポーツなどの希望があります。



男子バスケ
女子バレー
吹奏楽

これまでは
校内で選ぶし
かなかった



中学校の部活は2026年夏に終了

これからは
地域のクラブ活動へ！

KOBE♦KATSU

コベカツは校区の制限がなく、部活動に無かった新種目に参加したりと子どもたちの選択の幅が広がります。

コベカツは、全国的な部活動改革の流れの中で先駆的な役割を果たすものとして注目されています！！

コベカツの現状 — クラブ数は十分に確保できる？ —

第1次募集の結果

（第2次募集は6月頃の予定です）

申請件数／620クラブ

内訳／スポーツ・武道【443】

文化・芸術・その他【177】

参考／現在の中学校部活動数【1,108部】

教育長答弁／申請が少ないところは個別に働きかけを行い、活動団体の確保に全力を挙げて取り組みます。教育委員会が責任を持って対応していきます。

課題

地域の偏りや申請数もまだまだで、引き続きの募集・調整はこれからです。

今までにない種目の応募も目白押しです！

詳しくはこちら➡

ボウリング、フレスコボール、居合道、カポエイラ、フェンシング、よさこい踊り、ボードゲーム、eスポーツ、ドローン操縦、釣り、農業、料理、獅子舞、着物着装、和太鼓、フラダンス etc.



ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！ 神戸市議員 木戸さだかず tel. 070-7645-4168

コベカツの現状 — 保護者負担は？ —

月額3,000～4,000円

- ・週に2～3回活動を想定
- ・スタッフの報酬や保険などの経費負担等

教育長答弁／学校施設やその備品を活用し、できるだけ低廉な費用設定を各団体をお願いしています。経済事情により選択肢が制限されないよう、経済的困窮家庭への支援については検討が必要であると考えています。国に対し、必要となる費用に対する財政支援を要望しているところです。

課題

経済的に会費を払えないご家庭への支援はこれから検討です。クラブに参加するためにバスや電車移動が必要になることも予想され、会費も含めて大きな負担になる可能性も。

コベカツの現状 — 活動はいつ？ —

平日/16:00～20:30(うち2時間程度)

土日/ 9:00～18:00(うち3時間程度)
(夏季は8:00～)

学校教育部長答弁／指導者の方で、平日の日中に活動できる方は限られると想定しており、平日の夜間の活動についても検討しています。

課題

夜間の学校開放に向けた、セキュリティロックや照明設備の設置、近隣住民の理解といったこともこれからです。

コベカツの現状 — ハラスメントや体罰はどう防ぐ？ —

スタッフ研修／年1回、WEB講習

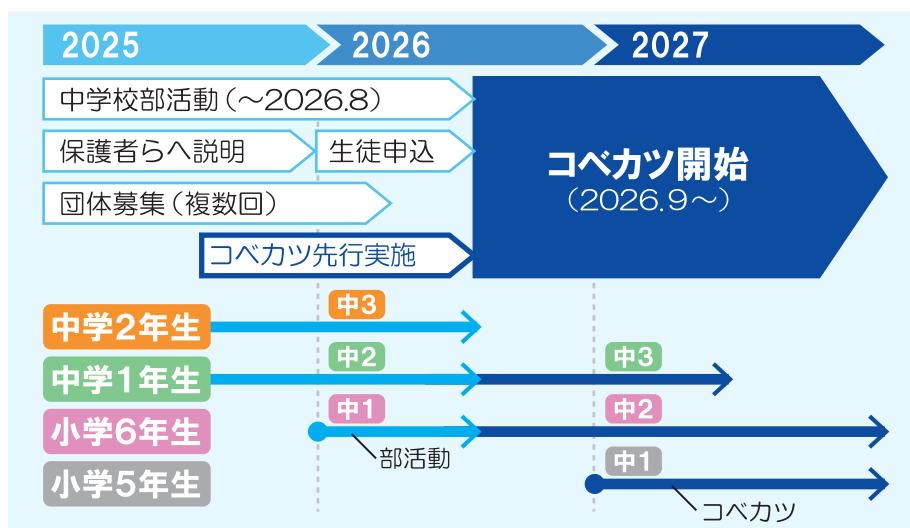
- ・熱中症予防(約17分)
- ・ハラスメント防止(約50分)
- ・留意すべき事項(約10分)
- ・安全管理(約10分)

教育委員会総務課回答／基本的には団体での対応になりますが、団体で対応できない場合や、保護者から直接問い合わせがあった場合などは、教育委員会が対応していきます。

課題

「神戸市体罰を許さない学校づくり検討委員会」でも懸念の声。トラブル対応に教育委員会がどこまで関われるのか、専用の相談窓口設置をとの声もあがっています。

コベカツの現状 — 今後のスケジュールは？ —



コベカツに関わってみませんか

資格の有無に関わらず、地域の方々や保護者などもコベカツに関わっていただけます。

コベカツについて
詳しくは→
(コベカツ特設HP)



ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！

神戸市会議員 **木戸さだかず**

〒654-0142

友が丘1丁目109番地

電話/070(7645)4168

メール/k.sadakazu@gmail.com

コベカツは、まだまだ決まっていないことや課題も沢山ありますので、これからも市会でしっかりと議論していきます！

編集・発行/こうべ未来市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL: 078-322-5844 FAX: 078-322-6161